

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149835号
(U3149835)

(45) 発行日 平成21年4月16日 (2009. 4. 16)

(24) 登録日 平成21年3月25日 (2009. 3. 25)

(51) Int. Cl.

F 1

B 6 5 D 65/10 (2006. 01)

B 6 5 D 65/10

B

B 6 5 D 63/10 (2006. 01)

B 6 5 D 63/10

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2009-453 (U2009-453)
(22) 出願日 平成21年2月2日 (2009. 2. 2)(73) 実用新案権者 501379694
株式会社ヘッズ
大阪府大阪市阿倍野区天王寺町北3丁目9
- 1 1
(74) 代理人 100061745
弁理士 安田 敏雄
(74) 代理人 100120341
弁理士 安田 幹雄
(72) 考案者 暮松 ▲邦▼一
大阪府大阪市阿倍野区天王寺町北3丁目9
- 1 1 株式会社ヘッズ内

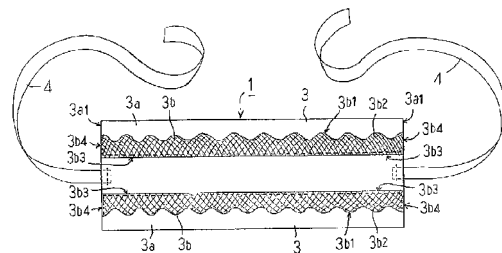
(54) 【考案の名称】 包装用結束具とこれを用いた包装物

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】包装作業が簡単で、しかも、仕上がりが綺麗で、豪華さや高級感を出すことができ、贈答品や進物等の被包装物の美観向上や見栄え向上が図れる包装用結束具とこれを用いた包装物を提供する。

【解決手段】包装用結束具1は、被包装物の上面に掛けられる掛け布3と、この掛け布3の周縁の対向位置から突出して設けられ、被包装物2に巻き付けられて被包装物の上面側で掛け布3の上から結束される長さを有する結束用紐4とにより構成する。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

被包装物の上面に掛けられる掛け布と、この掛け布の周縁の対向位置から突出して設けられ、被包装物に巻き付けられて被包装物の上面側で掛け布の上から結束される長さを有する結束用紐とを有していることを特徴とする包装用結束具。

【請求項 2】

前記掛け布は、ベース生地と、このベース生地の上面を装飾する装飾体とで構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の包装用結束具。

【請求項 3】

前記掛け布のベース生地は、織物生地、編み物生地、不織布生地の何れかで構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の包装用結束具。

10

【請求項 4】

前記結束用紐は、布テープ、紙テープ、樹脂テープのいずれかで構成されていることを特徴とする請求項 1～3 の何れか 1 項に記載の包装用結束具。

【請求項 5】

前記結束用紐は、1 本の紐又は紅白紐、五色紐等の複数本の紐で構成されていることを特徴とする請求項 1～4 の何れか 1 項に記載の包装用結束具。

【請求項 6】

被包装物を前記請求項 1～5 の何れか 1 項に記載の包装用結束具で包装してなることを特徴とする包装物。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、贈答品や進物といった送り物を簡単に見栄え良く包装するための結束具とこれを用いた包装物に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、被包装物を包装紙によって見栄え良く包装するには、包装紙を被包装物に体裁良く巻き付けて包装することが必要であり、そのためには器用さと感性、及び熟練が必要とされ、相当に手間もかかっていた。

30

この点を改善するものとして、表面側に模様、マーク、文字等が表示され、裏面側の周縁所定位置に粘着剤が設けられた包装紙が提案され、この包装紙を被包装物の上面の被せて周縁を被包装物に押さえつけることにより、前記粘着剤で包装紙を被包装物に接着させるようにしている（特許文献 1 参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】実開平 5－9 5 8 6 4 号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

40

【0004】

上記特許文献 1 のものは、従来の包装紙による包装作業を簡単にすることができるが、贈答品や進物等のように送り主側の気持ちを込めた送り物の包装としては、貧弱感が伴い、物足りなく、豪華さや高級感に欠ける不具合があり、そこで、見栄えや美観向上を図るために、前記包装紙の上に、熨斗紙や水引、装飾リボン掛け等が必要となる。しかし、これでは、豪華さや高級感を出すには、依然として手間がかかり、コスト高となる不具合があった。

本考案は、包装作業が簡単で、しかも、仕上がりが綺麗で、豪華さや高級感を出すことができ、贈答品や進物等の被包装物の美観向上や見栄え向上が図れる包装用結束具とこれを用いた包装物を提供することを目的としている。

50

【課題を解決するための手段】

【0005】

前記目的を達成するために本考案の包装用結束具は、被包装物の上面に掛けられる掛け布と、この掛け布の周縁の対向位置から突出して設けられ、被包装物に巻き付けられて被包装物の上面側で掛け布の上から結束される長さを有する結束用紐とを有していることを特徴としている。

この構成によれば、掛け布を被包装物の上面に掛けて結束用紐を被包装物に巻き付け、この結束用紐の両端を被包装物の上面側で掛け布の上から結束することにより、包装作業が終了するもので、従来の包装紙による包装作業のような器用さや熟練を必要とせず、誰でも簡単に包装作業ができる。しかも、被包装物の上面を掛け布によって体裁良く覆うことができ、結束用紐で結束していることによって、蓋と本体や、主体と付属品或いは複数の品物をばらけることなく確実に結束することができ、さらに、結束用紐を蝶結び等の装飾性を持たせた結び目を形成させることができ、また、この掛け布と結束用紐とは、一体化されており、ずれることがないため、贈答品や進物等の被包装物の美観向上や見栄え向上が図れる。

【0006】

前記掛け布は、ベース生地と、このベース生地の上面を装飾する装飾体とで構成されている。

この構成によれば、掛け布のベース生地の生地構成（素材や色彩、柄模様、輪郭形状等）及び装飾体の構成や配置を用途やグレード等に応じて変化させることができ、ベース生地の素材と異質の装飾体とを重ねて用いることにより、立体感ないし重厚感や豪華さを出すことができる。

前記掛け布のベース生地は、織物生地、編み物生地、不織布生地の何れかで構成されている。

【0007】

この構成によれば、被包装物を覆うのは、掛け布だけであるが、この掛け布のベース生地は、織物生地、編み物生地、不織布生地の何れかで構成されていることによって、従来の包装紙よりも豪華さと高級感を出すことができ、しかも、異素材を重ねて用いることによって、立体感も出せる。

前記結束用紐は、布テープ、紙テープ、樹脂テープのいずれかで構成されている。

この構成によれば、用途やグレード等に応じて結束用紐の材質を変化させることができる。

【0008】

前記結束用紐は、1本の紐又は紅白紐、五色紐等の複数本の紐で構成されている。

この構成によれば、用途やグレード等に応じて結束用紐の構成を変化させることができる。

本考案の包装物は、被包装物を前記の何れかに記載の包装用結束具で包装してなるものである。

この構成によれば、それぞれの用途に合わせて掛け布及び結束用紐を選択使用することにより、豪華で、手作り感、特別感、ボリューム感等がある包装物が提供できる。また、イベント、季節限定、特別仕様、高級感、ナチュラル、定番、馴染みやすいなど、各種の用途や目的などに応じた異なる外観、趣味感などをもつ複数種類の包装用結束具を提供することが出来る。そして、これを用いることにより、包装作業が簡単で、しかも、仕上がりが綺麗で、豪華さや高級感を出すことができ、贈答品や進物等の被包装物の美観向上や見栄え向上が図れる包装物を提供することができる。

【考案の効果】

【0009】

本考案によれば、包装作業が簡単で、しかも、仕上がりが綺麗で、豪華さや高級感を出すことができ、贈答品や進物等の被包装物の美観向上や見栄え向上が図れる包装用結束具とこれを用いた包装物を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本考案の第1の実施形態に係る包装用結束具の展開状態の平面図である。

【図2】図1の包装用結束具を用いた包装物の概略斜視図である。

【図3】本考案の第2の実施形態に係る包装用結束具の展開状態の平面図である。

【図4】図3の包装用結束具を用いた包装物の概略斜視図である。

【図5】本考案の第3の実施形態に係る包装用結束具の展開状態の平面図である。

【図6】図5の包装用結束具を用いた包装物の概略斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0011】

以下、本考案の実施形態を図面を参照して説明する。

本考案の第1の実施形態に係る包装用結束具1は、図1、図2に示すように、被包装物2の上面に掛けられる掛け布3と、この掛け布3の周縁の対向位置から突出して設けられ、被包装物2に巻き付けられて被包装物2の上面側で掛け布3の上から結束される長さを有する結束用紐4とを有している。

この掛け布3は、ベース生地3aと、このベース生地3aの上面を装飾する装飾体3bとで構成されている。掛け布3のベース生地3aは、第1の実施形態では、長方形帯状のサテン製リボン生地で構成されている。

【0012】

この場合、長方形の短辺の寸法は、被包装物2の縦幅寸法よりも若干短い寸法（例えば、80%）とされ、長辺の寸法は、被包装物2の上面と両側面とを加えた寸法よりも長く、被包装物2の全周囲長よりも若干短い寸法とされている。ベース生地3aの長辺側の端縁及び短辺側の端縁は、オーバーロックミシンなどによる縁かがり縫い等の解れ止め処理が施されている。

そして、装飾体3bには、先端側に波形の飾り縁3b1をもつ2本のレース生地3b2を短辺方向中央部に間隔を開けてベース生地3aの長辺と平行に縫い付けている。レース生地3b2は、波形の飾り縁3b1をベース生地3aの長辺側の端縁3a1から内側へずらせて基部3b3側で縫い付けており、先端側の波形の飾り縁3b1がベース生地3aから浮き上がるように縫い付けて豪華さや重厚感、高級感を持たせている。但し、レース生地3b2の長手方向両端3b4は、ベース生地3aに全長に亘って縫い付けてめくれ止めしている。

【0013】

結束用紐4は、ベース生地3aの長辺方向両端で短辺方向中央部に1本ずつ別々に縫い付けている。この結束用紐4は、リボン生地が使用され、被包装物2に巻き付けて図2に示すように、蝶結びで結束されている。

図3、図4は、本考案の第2の実施形態を示しており、この場合、掛け布3のベース生地3aは、不織布とし、装飾体3bとして、ベース生地3aとは異なる色調の不織布をさくらの花卉形状に切り抜いた複数の装飾片3b5をベース生地3aの上に適宜分散配置して縫い付け、接着等によって取り付けたものである。

【0014】

この場合の結束用紐4は、紙テープまたは樹脂テープ製のものを紅色2本と白色1本の3本を重ね合わせてベース生地3aの長辺方向両端の短辺方向中央部に縫い付け、接着等によって取り付けられている。

次に、図5、図6は、本考案の第3の実施形態を示しており、この場合、掛け布3のベース生地3aは、広幅の木綿生地3a2の上に幅狭の麻生地3a3を重ね合わせて縫い付けた構成とし、装飾体3bとして、1つのレース生地3b2を第1の実施形態と同様な方法で縫い付けている。この場合の結束用紐4は、前記第1の実施形態と同様に取り付けている。

【0015】

本考案の実施形態は、以上からなり、次に、その包装作業要領を説明する。

10

20

30

40

50

本考案の包装用結束具 1 は、被包装物 2 に対して、掛け布 3 を被包装物 2 の上面に掛け、結束用紐 4 を被包装物 2 の両側から下面に回してさらに被包装物 2 の反対側の両側から被包装物 2 の上面に回し、掛け布 3 の上面から蝶結び状に結束する。これによって、包装作業は終了し、包装物 5 が完成する。

以上説明したように、本考案の実施形態に係る包装用結束具 1 は、被包装物 2 の上面に掛けられる掛け布 3 と、この掛け布 3 の周縁の対向位置から突出して設けられ、被包装物 2 に巻き付けられて被包装物 2 の上面側で掛け布 3 の上から結束される長さを有する結束用紐 4 とを有しているため、掛け布 3 を被包装物 2 の上面に掛けて結束用紐 4 を被包装物 2 に巻き付け、この結束用紐 4 の両端を被包装物 2 の上面側で掛け布 3 の上から結束することにより、包装作業が終了するもので、従来の包装紙による包装作業のような器用さや熟練を必要とせず、誰でも簡単に包装作業ができる。しかも、被包装物 2 の上面を掛け布 3 によって体裁良く覆うことができ、結束用紐 4 で結束していることによって、蓋と本体や、主体と付属品或いは複数の品物をばらけることなく確実に結束することができ、さらに、結束用紐 4 を蝶結び等の装飾性を持たせた結び目を形成させることができ、また、この掛け布 3 と結束用紐 4 とは、一体化されており、ずれることがないため、贈答品や進物等の被包装物 2 の美観向上や見栄え向上が図れる。

10

【0016】

また、掛け布 3 は、ベース生地 3 a と、このベース生地 3 a の上面を装飾する装飾体 3 b とで構成されているため、掛け布 3 のベース生地 3 a の生地構成（素材や色彩、柄模様、輪郭形状等）及び装飾体 3 b の構成や配置を用途やグレード等に応じて変化させることができる。また、ベース生地 3 a として、異質の素材を重ねて用いることにより、立体感ないし重厚感や豪華さを出すことができる。

20

本考案の実施形態は、以上からなるが、本考案は、この実施形態にのみ制約されるものではなく、実用新案登録請求の範囲に記載に範囲内で種々変更して実施することができる。例えば、掛け布 3 のベース生地 3 a は、実施形態で例示したものに制約されず、シルク、麻、綿、合繊、その他、各種の織物生地、編み物生地、不織布生地の何れを用いてもよい。また、掛け布 3 の形状は、長方形帯状としたものを例示しているが、これに制約されるものではなく、楕円形、円形、菱形、ハート型、雲形、鼓型、その他、任意の形状としてもよい。さらに、装飾体 3 b は、レース生地 3 b 2 の縫い付け、刺繍模様、装飾片 3 b 5 の縫い付け、又は、捺染模様、プリント模様等としてもよい。そして、結束用紐 4 は、その素材として、布テープ、紙テープ、樹脂テープのいずれでもよく、その本数も 1 本に限らず、複数本とすることができ、その際、紅白紐や五色紐等の異色の組み合わせ紐であってもよい。また、結束用紐 4 の長さは、被包装物 2 を 1 回巻きするだけの長さがあれば良いが、場合によっては、被包装物 2 に十字状（クロス掛け状態）に掛け渡して結束するような長さとしておいてもよい。

30

【産業上の利用可能性】

【0017】

本考案の包装用結束具は、箱詰めされた被包装物の包装に適用出来る他、袋詰めされた被包装物や裸の被包装物の包装にも適用することができるものである。

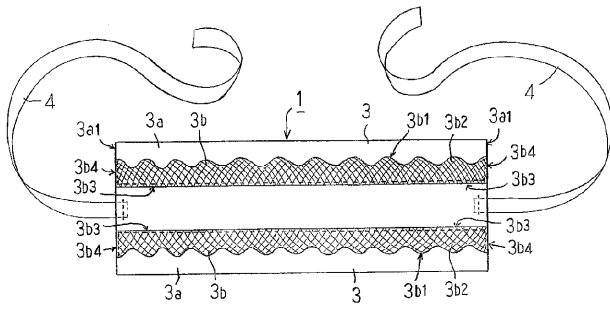
【符号の説明】

40

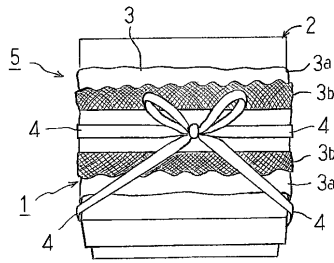
【0018】

- 1 包装用結束具
- 2 被包装物
- 3 掛け布
- 3 a ベース生地
- 3 b 装飾体
- 4 結束用紐
- 5 包装物

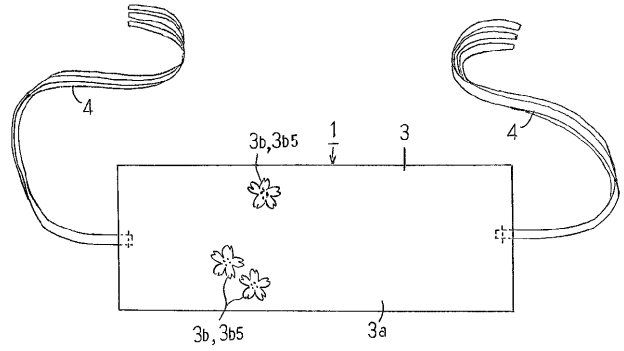
【図 1】



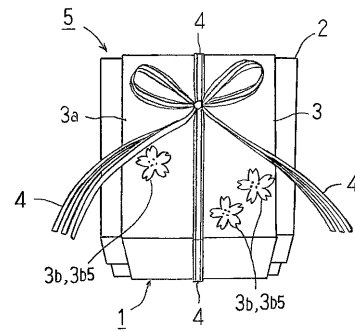
【図 2】



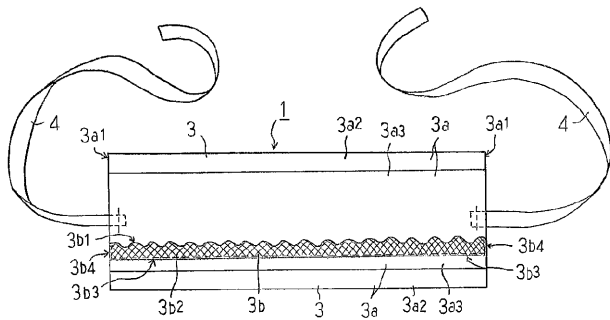
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

